

資料番号	9
------	---

令和4年11月18日
課名 環境県民局自然環境課
担当者 課長 鶴田
内線 2930
課名 土木建築局港湾振興課
担当者 課長 上場
内線 4018

福山港におけるヒアリの確認について

1 要旨・目的

福山港国際コンテナターミナル及び同港から搬出されたコンテナにおいて、特定外来生物であるヒアリが確認されたので、経緯及び対応状況を報告する。

2 現状・背景

本県では、平成29年度に広島港で初めてヒアリが確認されて以降、環境省が春季・秋季に2回実施する全国65港湾での侵入状況確認調査に加えて、県独自に年間を通じて毎月調査を行っている。

この度、福山港において、環境省の定期調査によりヒアリが確認されたことに伴い、10月23日（日）以降、毎週日曜に、体制を強化して環境省と連携し、調査・防除を行っている。

3 概要

(1) 調査対象（発見された個体）

ヒアリ

（発見された個体は、働きアリ 10,000 匹以上、女王アリ 4 匹以上、複数の雄アリ及び^{さなぎ}蛹）

(2) 調査期間

令和4年10月16日（日）から現在まで（継続中）

(3) 調査結果（調査による発見、対応等の経緯）

9/15(木) ベトナムホーチミン港から当該コンテナを積載した船舶が出航。

10/12(水) 香港港（積み替え地）を経由して、福山港に入港し、コンテナを陸揚げ。

10/16(日) 環境省の定期調査において、福山港内の3地点で、ヒアリの疑いのあるアリ数百匹を発見。防除を実施。

10/18(火) 環境省が現地調査及び防除を実施。

専門家が当該アリについて、ヒアリであることを確認。

10/21(金)～ コンテナ貨物の輸送関係者等に対し、開封時の点検方法、発見時の対応方法等、行政への連絡先について周知し注意喚起。併せて、コンテナの搬出に際しては、コンテナ外装にヒアリの付着がないことを確認し、コンテナの下部に殺虫剤を散布。

10/24(月) 福山港から、ヒアリが確認されたコンテナを含む、コンテナ2個を陸路で搬出。

- 10/25(火) 岡山県井原市の民間事業者敷地へ搬入されたコンテナを開封したところ、多数のアリを発見したため作業を中断し、直ちにコンテナを閉鎖して、地面にこぼれ落ちた個体を殺虫処理。
- コンテナは福山港に返送され、福山港周辺の事業者敷地に蔵置。
- 10/26(水) 環境省が、民間事業者敷地の調査を実施し、ヒアリの発見はなし。福山港周辺の事業者敷地において、蔵置されているコンテナを確認したところ周辺に逸出している十数個体を発見し、殺虫処理。
- 10/28(金) 福山港の民間事業者敷地において、荷主により当該コンテナ内部の^{くんじょう}燻蒸殺虫処理を実施。その際に、コンテナ内部で10,000匹以上のアリ（多くは死骸）を発見。
- 10/31(月) 専門家が当該アリについて、ヒアリであることを確認。
- 11/6(日) 環境省の調査地点において、ヒアリの働きアリ20数匹を発見し、防除を継続。
- 県の調査範囲（その他の港内全域）においては、ヒアリの発見はなし。
- 11/7(月) 福山港におけるコンテナ貨物の輸送関係者等に対し、ヒアリが確認された旨及び納入先での確認、環境省・県への通報について、再度周知徹底。
- 11/15(火) ヒアリが確認されたコンテナについて、福山港の燻蒸施設において、より強力な燻蒸処理を実施。

(4) 今後の対応

- ア 環境省の指針に基づき、県・環境省が連携して、ヒアリが確認されなくなるまで、発見場所周辺を含むコンテナターミナル全体において、目視調査及び誘引式トラップ調査を概ね1週間に1回継続する。
- イ 新たにヒアリを発見した場合は、殺虫餌を設置し防除を継続する。
- ウ 環境省において、福山港周辺の2キロメートル程度の範囲についても、調査を実施予定である。